

資料紹介

豊後佐伯藩関係資料

河野松男氏収集文書類 (一)

資料収集 河野松男

(会員)

編集・解説 佐藤巧

(会員)

この資料は佐伯市城東町に住む河野松男会員が、長い間に収集した佐伯藩関係資料の目録とその一部です。

《目録》

- (一) 毛利高政触書(松浦の嘉兵衛・平三郎方へ)
- (二) 森撰津守(高成)書翰(鮑百五進入せしむ)
- (三) 毛利市三郎(高直)書翰(益田主殿方より申す)
- (四) 毛利市三郎(高直)書翰  
(益田主殿・磯部三左衛門方)
- (五) 毛利高慶の御意見書  
(戸倉・長谷川から武具奉行へ)
- (六) 毛利高標の書翰(書物奉行へ)
- (七) 毛利高泰の書翰(劔術の心得)
- (八) 中島子玉宛て書翰  
(佐伯名産の御札と帰省の餞別)
- (九) 野下仙左衛門覚書  
(野々下有右衛門へ長筒免状の件)
- (一〇) 津田龍砲術口伝六冊之書
- (一一) 五所明神社御神幸祭絵巻
- (一二) 佐伯御領内絵図
- (一三) 久保田南崖画幅(おしどり越冬)
- (一四) 久保田南崖画幅(月に落雁)
- (一五) 高松浦文書  
(明細帳・佐伯領産物・就家門改帳他)
- (一六) 秋月橋門書幅(明治四年・長寿の法)
- (一七) 秋月橋門書画幅(明治三年・葛飾県庁にて)
- (一八) 秋月橋門書幅(東京牛門にて)
- (一九) 秋月新太郎書幅(野岳岳作・富士山)
- (二〇) 秋月新太郎書幅(古寺にて)
- (二一) 小栗憲一書画幅  
(明治八年前田閣下へ・赤壁の賦)

- (二二) 宜科主人書幅 (明治十九年・実名不詳)
- (二三) 矢野龍溪書幅 (明治二十一年・日名子主人へ)
- (二四) 佐藤蔵太郎書幅 (古寺にて)
- (二五) 蒲江八景 (御手洗賢兒へ・藤泰山)
- (二六) 羽守書翰 (養賢寺二十三世華陰宛て)
- (二七) 三輪省三画幅 (獅子舞)
- (二八) 後藤真吉画幅 (旅宿にて)
- (二九) 立斎六曲屏風
- (三〇) 作者不詳四曲屏風

以上三十点の中から、(一) 毛利高政触書を紹介します。

(一) 毛利高政触書

態申遣候。其村中、井ミぞへ 川すな

今年の水二すな はせ、もし水つかへ 候所

并右川、水わら今度はせ候。此已来

大水出候ハバ、又すな はせ出し水 滯

右之河わら いミぞ すなにてふさがり

可申候 間、何時にても大水出候 時者、井ミぞ

河わら よくたちまわり見候て  
 歟五丁にても拾丁にても 可入。

もし川すそへ すな かきならさせ候

も、水つかへざる様ニ 可仕 候。油断 仕、又

前々のごとく すなはせ出し 井みぞ

ふさがり候は、五百人三百人手間も

入るにて 候。間、水出候 度毎ニ 少もすな

たまり無之様ニ 川すそへ かきなら

させ可申候。若此旨 油断 仕、井ミぞ

川尻つき□□田島□□□、其村之

庄屋・百姓、曲言ニ可申付候 間、堅、可

得其意候。此状之趣、たしかに以其

意之旨、別請状 仕 可相作者也。

二月 日 高政 (印)

松浦 嘉兵衛 / 平三郎方へ

